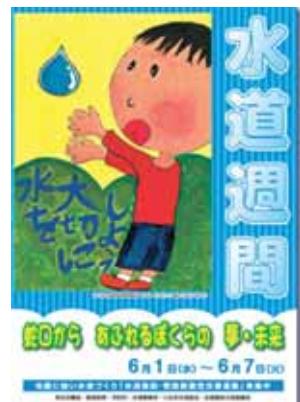


「水道に 寄せる信頼 飲む安心」

第53回水道週間 6月1日~7日



今年も6月1日から7日まで一週間にわたり、第53回水道週間が実施されます。この水道週間は、みなさんに水道について理解と関心をもつていただくため、毎年実施されています。

最近では水道の水質に多くの関心が寄せられています。過去3年の水質検査結果を町ホームページ等に掲載することにより、富士見町の水道水の安全性を住民の皆さんにご周知し、より一層の安全性向上を図っています。

富士見町の水道水は、町内にある地下水を中心に、15箇所の水源から皆さんのご家庭などに給水しています。この水がいつでも安全でおいしく供給できるよう努めて参ります。

富士見町では水道水の安全性を確認するため、水源として取水している3種類の原水（表流水、湧水、深層地下水）の浄水施設から4月5日に採水し検査機関へ放射能物質（放射性ヨウ素I-131・放射性セシウムCs-134・Cs-137）の検査を依頼したところ、検査結果は不検出でした。詳しい内容は、富士見町のホームページに掲載しております。

■今後の安全対策について

- ①高感度電離箱サーベイターで町内水源地付近の放射線濃度を毎日測定しています。
- ②県内の2箇所及び山梨県のモニタリングポストでの測定状況を監視します。
- ③必要に応じ検査機関において、水道水の放射線物質（放射性ヨウ素I-131・放射性セシウムCs-134・Cs-137）の検査を行います。

上水（蛇口水）の放射線濃度の測定結果

● 風呂・洗面・洗濯編



生ゴミなどをつまることで、排水管が詰まることがあります。野菜くずや残飯などは流さないでください。

● ディスポーバーは使わない

生ゴミを細かくして流しても、詰まる原因となります。

● 生ゴミを捨てない

生ゴミなどはつまりの原因になります。野菜くずや残飯などは流さないでください。

● キッキン編

下水道は、自然や生活環境をより良くするための公共の財産です。下水道の施設は大部分が地下にあるため、詰まったときの修理は大変です。一人一人がルールを守り、上手に使いましょう。

● 詰まるものは流さない

固いものや布類は排水管内部や下水管本管下流にあるポンプ場や処理場で詰まる原因となる可能性があるので、便器に落とした場合は水を流す前に必ず捨出します。



●トイレットペーパー以外は流さない
水に溶けやすいトイレットペーパー以外のティッシュペーパーや新聞紙、紙クズなどを流すと排水管が詰まる原因となります。

● トイレ編

殺虫剤、防臭剤は入れないようにします。

便器の掃除にはぬるま湯を使い、落ちにくい汚れには中性洗剤を使うなどして、塩素系薬剤は使わないようにしましょう。

● 屋外編

下水道は分流式なので、下水管には雨水を絶対に入れないようにしましょう。

● 雨水は入れない

有機リン洗剤は処理場でも完全には排出しきれず、川や湖の環境を悪化させます。

問 上下水道課 ☎ 622-9354